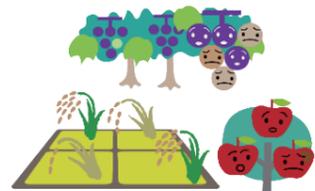


地球温暖化の影響について

地球温暖化が進行すると、夏の猛暑や強い雨が更に激しくなり、暑さによる健康被害、大雨による土砂災害や水害、高温による農作物の被害などの影響があると考えられています。

「出典：気候変動適応情報プラットフォーム」



気候変動(地球温暖化)に対しては、緩和策(温室効果ガスの排出削減など)はもちろんのこと、被害の回避・軽減を図る適応策に取り組むことが重要とされています。(参考：気候変動適応計画(令和3年10月22日閣議決定))

地球温暖化の影響や適応については、気候変動適応情報プラットフォーム(国立環境研究所)をご参照ください。



気候変動適応情報プラットフォーム
(国立環境研究所)

(参考) 予測シナリオについて

本リーフレットでは、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書(AR5)で用いられたRCP2.6シナリオとRCP8.5シナリオに基づき将来予測を行っています。

RCP2.6シナリオでは、21世紀末(2081-2100年)の世界平均気温が、工業化以前※と比べて約2°C(0.9~2.3°C)上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「**2°C上昇シナリオ**」と表記しています。これは、**パリ協定の2°C目標が達成された世界**であり得る気候の状態に相当します。RCP2.6はIPCC第6次評価報告書(AR6)のSSP1-2.6に近いシナリオです。

RCP8.5シナリオでは、21世紀末(同上)の世界平均気温が、工業化以前と比べて約4°C(3.2~5.4°C)上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「**4°C上昇シナリオ**」と表記しています。これは、**追加的な緩和策を取らなかった世界**であり得る気候の状態に相当します。RCP8.5はIPCC AR6のSSP5-8.5に近いシナリオです。

※1750年より以前の期間を示しますが、世界的な観測が行われるようになった1850-1900年の観測値で代替しています

全国の情報はこちら

「日本の気候変動2020」
(文部科学省・気象庁、令和2年12月公表)



富山県の情報はこちら

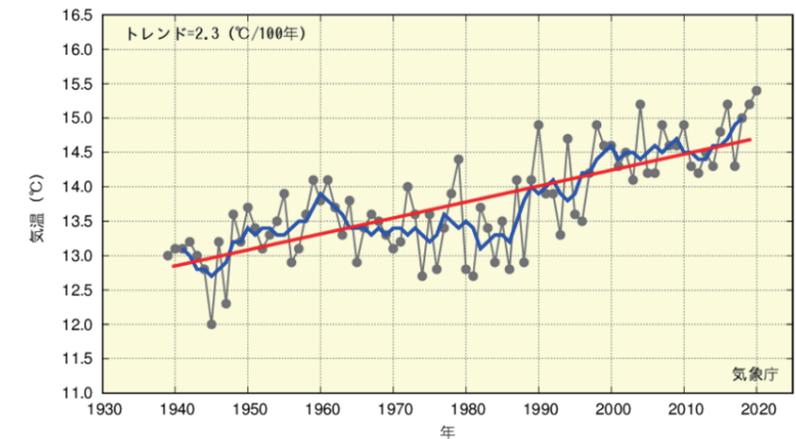
気候変化レポート 富山県の気候変動
—関東甲信・北陸・東海地方— —このリーフレット—



富山県の気候変動

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)
に基づく地域の観測・予測情報リーフレット

富山市のこれまでの気温の変化



富山市の気温は100年あたり約2.3°C上昇しています。
富山県の将来の気候はどのようになるのでしょうか。

このリーフレットでは、20世紀末と比較した21世紀末の将来予測を、以下2つのシナリオについて示しています(詳細は裏表紙をご覧ください)。

2°C上昇シナリオ(RCP2.6)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2°C上昇。
パリ協定の2°C目標が達成された世界。

4°C上昇シナリオ(RCP8.5)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4°C上昇。
追加的な緩和策を取らなかった世界。



富山地方気象台 富山県富山市石坂2415 TEL: (076)432-2331

東京管区気象台 東京都清瀬市中清戸3-235 TEL: (042)497-7219

このリーフレットは印刷用の紙にリサイクルできます

令和4年3月

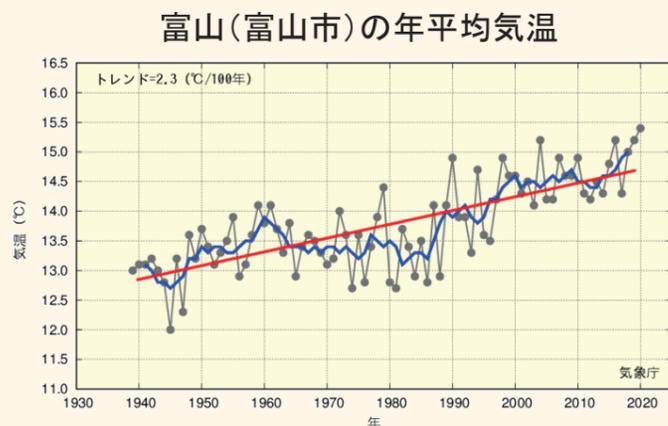
富山地方気象台・東京管区気象台

年平均気温の変化

➤ 21世紀末には年平均気温が約1.5°C/約4.5°C上昇 (2°C/4°C上昇シナリオ)

これまで

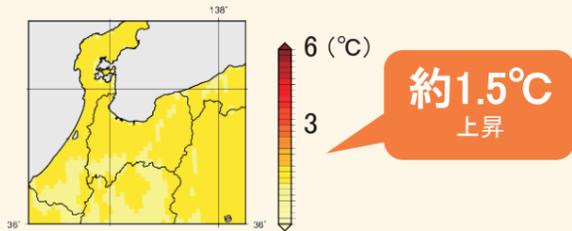
富山(富山市)では年平均気温が100年あたり約**2.3°C**上がっています。



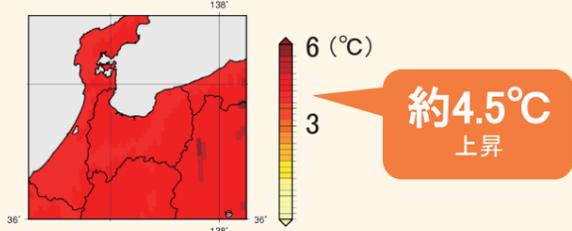
これから

富山県を平均した変化量を示す

2°C上昇シナリオ



4°C上昇シナリオ



猛暑日や熱帯夜などの変化

➤ 21世紀末には猛暑日が約4日/約24日増加 (2°C/4°C上昇シナリオ)

これまで

富山(富山市)では猛暑日の年間日数が10年あたり約**1.4日**増えています。



これから

富山県を平均した変化量を示す

2°C上昇シナリオ

猛暑日	4日程度増加	↑
真夏日	15日程度増加	↑
熱帯夜	12日程度増加	↑
冬日	22日程度減少	↓

4°C上昇シナリオ

猛暑日	24日程度増加	↑
真夏日	53日程度増加	↑
熱帯夜	55日程度増加	↑
冬日	50日程度減少	↓

猛暑日: 日最高気温35°C以上 真夏日: 日最高気温30°C以上 熱帯夜: ここでは日最低気温25°C以上 冬日: 日最低気温0°C未満

→ 産業や生態系など広い分野への大きな影響と健康被害の増大

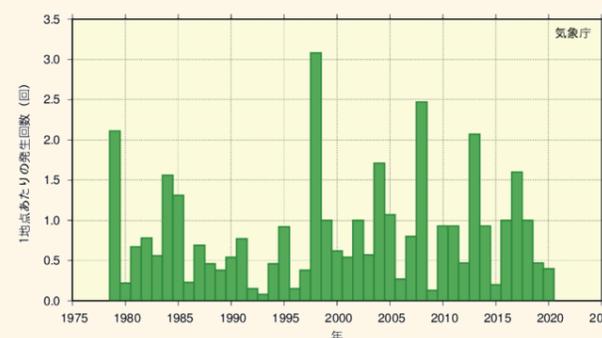
雨の変化

➤ 21世紀末にはバケツをひっくり返したように降る雨*の発生が約1.4倍/約2.2倍に(2°C/4°C上昇シナリオ)

これまで

富山県では1時間降水量30mm以上の発生回数に有意な変化はみられませんが、最近10年間(2011~2020年)の平均年間発生回数は、統計期間の最初の10年間(1979~1988年)と比べて**約1.1倍**に増えています。

富山県の1時間降水量30mm以上の発生回数変化



これから

富山県を平均した変化量を示す

2°C上昇シナリオ

富山県では1時間降水量30mm以上の雨は**約1.4倍**に増加。

4°C上昇シナリオ

富山県では1時間降水量30mm以上の雨は**約2.2倍**に増加。

地域単位での予測は不確実性が高いことに注意

*バケツをひっくり返したように降る雨: 1時間降水量30mm以上

年最深積雪の変化

➤ 21世紀末の北陸地方では年最深積雪が約30%/約80%減少 (2°C/4°C上昇シナリオ)

これまで

富山(富山市)では年最深積雪が10年あたり**約6cm**減っています。



これから

北陸地方を平均した変化量を示す

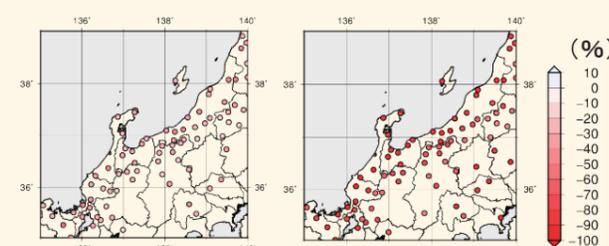
2°C上昇シナリオ

北陸地方では年最深積雪が**約30%**減少します。

4°C上昇シナリオ

北陸地方では年最深積雪が**約80%**減少します。

2°C上昇シナリオ



→ 大雨による災害発生や水不足などのリスクが増大

気候変動による一般的な影響を記載したものであり、富山県について評価したものではありません。気候変動の影響については環境省『気候変動影響評価報告書』等をご覧ください。